

## 第4章 人と人が顔を合わせ 広くつながる

### 第4章 人と人が顔を合わせ 広くつながる

#### 第1項 住民に身近で効率的な役場づくり(自治体経営)

基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価				
<b>(1) 効率的な行政経営</b>							
①業務の効率化とサービス向上	<b>【01】効率的な行政評価の実施</b> <b>●最少の経費で最大のサービスを提供するため、効率的に行政評価を実施します。</b> ・組織目標の進捗管理により行政評価を実施します。	まちづくり政策課 企画財政係	(達成状況・課題) 平成28年度は総合計画1年目のため行政評価は実施せず。組織目標については、4月に各課より目標の取りまとめを行い、4半期毎で進捗状況について公表を実施。「行政評価」「組織目標」「人事評価(個人目標)」と事務処理が重複するなかで、「シートを記入すること」が仕事とならないよう、職員への事務負担の軽減を図る必要が				
			(今後の取り組み・改善策) H28分の行政評価については、「総合計画推進会議」を6月に開催、その後議会へ報告していく。組織目標進捗管理についてはシートの簡素化や記入時期を4半期毎→前期後期へ減らすなど事務負担の軽減を研究し、効率化を図る。				
			<table border="1"> <tr> <td>目標指標</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>人口1人当たり人件費物件費等決算額</td> <td>円</td> </tr> </table>	目標指標	単位	人口1人当たり人件費物件費等決算額	円
	目標指標	単位					
	人口1人当たり人件費物件費等決算額	円					
	<b>【02】行財政改革の推進</b> <b>●より専門化する業務量を適正かつ効果的に実施するため、業務改善に取り組みます。</b> ・若手職員を交える等、新たな提案等が行える行財政改革推進会議(仮称)を定期的に開催します。 ・行財政改革に係る個別的な計画については、計画ごとに設けられた専門組織により進行管理を行います。	まちづくり政策課 企画財政係	(達成状況・課題) 行財政改革推進会議については開催できていない。全庁的に取り組まなければならない行革は、必要な職員体制の整備と時間を要する中で取り組まなければならない。				
			(今後の取り組み・改善策) 町の財政状況について、課長会議や職員研修等で認識を共有し、業務改善に取り組むという職員認識の醸成を図る必要がある。				
	<b>【03】5Sの手法による業務改善の実施【新規】</b> <b>●業務の効率を向上させるため、業務の中に5Sの手法を取り入れます。</b> ・民間の経験者をアドバイザーとしてお願いし、推進を図ります。 ・職員研修(5S活動講演会等)を実施します。	総務課 行政庶務係	(達成状況・課題) 進んでいない。				
			(今後の取り組み・改善策) まずは3Sから取り組み、平成29年度は職員研修を行う。				
	<b>【04】庁舎環境の改善</b> <b>●より良い窓口サービスを提供するため、庁舎環境の改善を行います。</b> ・計画的なリフォームを推進します。 ・書類収納の職員研修を行い、書類整理の体系を持続します。	総務課 行政庶務係	(達成状況・課題) 1階、2階トイレの改修を行った。公文書管理システムの研修は行っていない。				
			(今後の取り組み・改善策) 2階女子トイレの改修を行う。公文書管理システムの研修を開催する。				
	<b>【05】職員接客力の向上</b> <b>●訪れるお客様にとって感じの良い安心できる役場とするため、清潔感のある快適な窓口環境を提供するとともに、職員接客力の向上を図ります。</b> ・窓口サービスアップ実践マニュアルの見直しを行うとともに、実践につなげます。 ・接客満足度アンケートと外部調査員による職員対応調査を実施します。	総務課 行政庶務係	(達成状況・課題) 窓口アンケートを設置したが、窓口職員の印象はおおむね良好だった。窓口サービスアップマニュアルの見直しは行っていない。				
			(今後の取り組み・改善策) 窓口対応の研修を7月に行う。講師に事前に来ていただき、窓口対応について外部調査を行う。				

平成29年度評価					平成30年度評価		総括評価		
(達成状況・課題) 平成28年度分の行政評価については、公表に至らなかった。組織目標の進捗管理は、四半期ごとで状況を公表した。組織目標進捗管理の事務簡素化は実施に至っていないが、職員の事務負担軽減と業務の適正な管理の面から引き続き研究を行っていく必要がある。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ 平成29年度分の行政評価について、9/26に行政評価委員会を開催し、11/14に議会(全協)へ報告した。11/28に最終結果を公表した。組織目標の進捗管理については、上半期と下半期で取りまとめ、理事者ヒアリングにより内容の情報共有を図った。		基本事業の成果指標		以下のとおり
							【まちづくり政策課:C】 組織目標の進捗管理など行政評価を確実に実施したことは、業務の効率化を図るという点において一定の効果があった。目標指標(人口1人当り人件費物件費等決算額)は増加傾向にあるが、類似団体内平均値とは50,000円以上低い水準を保っており、効率的な行政運営が図られていると判断できる。行財政改革は実施できておらず、仕事(業務)量が肥大化の傾向にある。		
(今後の取り組み・改善策) 四半期ごとの組織目標進捗管理について、様式の簡素化を図るとともに、事業進捗を理事者に報告する方式へ変更し、情報共有ができるよう改善を図る。					(今後の取り組み・改善策)		【総務課:B】 ・5S項目の整理、整頓、清掃を中心に取り組んできた。いいむす21や朝清掃など実践できているが、職員の意識向上を図っていく必要がある。		
							・庁舎設備の安全性、利用環境、利便性は進んできているが、施設の老朽化で漏水や雨漏りなどが起きている箇所がある。 ・窓口アンケート回答が少ないものの、結果はおおむね好評である。「窓口サービスアップ実践マニュアル」を改定した「職員接遇向上マニュアル」を基本に接客力の向上を図る必要がある。		
H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明			
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値				
122,290	132,131	137,084	144,797		120,000	増加傾向にある現状を鑑み、現状水準を維持します。			
(達成状況・課題) 行財政改革推進会議については開催できていない。議会等からも職員の働き方改革が求められており、全庁的に取り組む必要があるが、職員の体制等が追い付いていない。					進捗状況 (達成状況・課題) △		(達成状況・課題) 行財政改革推進会議については開催できていない。全庁的に取り組む必要があるが、職員の体制等が追い付いていない。		
(今後の取り組み・改善策) 長期的な目線で取り組むことを第一とし、まずは業務の洗い出し、事務事業評価を実施するなかで、仕事の取捨選択を図る。					(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性 以下のとおり		
(達成状況・課題) 5S推進委員会を立ち上げ、職員研修を行った。					進捗状況 (達成状況・課題) ○		【まちづくり政策課:維持継続】 業務の効率化は引き続き必要な事項であることから行政評価を確実に実施するとともに、行財政改革に取り組む。また現在実施していない事務事業評価に取り組む、予算編成の効率化を図る。		
(今後の取り組み・改善策) できることから始め、できている部分について確認をしていくことが必要である。					(今後の取り組み・改善策)		【総務課:維持継続】 ・5S項目の「清潔」「習慣」についても行動ができるよう職員の意識向上を図っていく。 ・利用環境と必要な施設修繕を整えていく。 ・新入職員や全職員を対象に職員接遇向上マニュアルの活用と職員研修を住民税務課とも連携して取り組んでいく。		
(達成状況・課題) 2階女子トイレの改修を行った。公文書管理規程の研修を行う必要がある。					進捗状況 (達成状況・課題) ○		(達成状況・課題) LED照明化、防犯カメラ導入、エレベーター改修、2階男子トイレ改修を行った。		
(今後の取り組み・改善策) 公文書管理規程の研修を開催する。					(今後の取り組み・改善策)				
(達成状況・課題) 窓口サービスアップマニュアルの見直しに着手した。7月に窓口対応研修を行った。1月におもてなしセミナーを行った。					進捗状況 (達成状況・課題) ○		(達成状況・課題) 新入職員及び全職員を対象とした窓口対応研修を実施した。窓口サービスアップ実践マニュアルの見直し作業を行い、改定版を作成した。		
(今後の取り組み・改善策) 窓口アンケートの提出増を図る。					(今後の取り組み・改善策)				

## 第4章 人と人が顔を合わせ 広くつながる

<p>②民間活力の導入</p>	<p><b>【01】業務の外部委託の検討</b>  <b>●業務の効率的、効果的な執行に資するため、民間委託が可能であり、かつコスト低減が図られる業務の外部委託(指定管理者制度を含む)を検討・導入します。</b>            ・業務システム・情報機器の現状・課題調査を外部コンサルタントにより検証します。【新規】            ・他団体の民間活力活用事例の調査研究を行います。</p>	<p>まちづくり政策課            企画財政係／まちづくり推進係</p>	<p>(達成状況・課題)            業務システム・情報機器検討委員会を立ち上げ、「システム経費の現状把握とその改善を図る」という方向性を確認。2カ年計画の初年度である28年度は、コンサルへ委託し現状把握等調査を実施する中で、経費増大の原因等も確認した。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)            委託2年目は、システム経費の適正化を図るための「ICT最適化計画」を策定し、職員へ周知徹底を図る。            県などの民間活力活用事例について、調査研究を行う。</p>				
	<p><b>【02】支所のあり方検討</b>  <b>●支所業務の効率化を図るため、各支所の存続や業務委託等について、地域住民とともに民間委託を含めて研究します。</b></p>	<p>住民税務課            住民係</p>	<p>(達成状況・課題)            新たな進展なし。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)            上片桐区から区等の事務支援の見直しの提案があった。区と共に検討していく予定。</p>				
(2)適正な人事管理							
<p>①職員の意識能力改革</p>	<p><b>【01】職員人材育成計画の適確な運用</b>  <b>●職員人材育成を推進するため、職員人材育成計画を策定し適切に運用します。</b>            ・人材育成推進委員会(庁内組織)において、人材育成計画の運用管理を行います。            ・職員アンケートを定期的の実施します。            ・職員研修計画を策定し、実施します。            ・長野県や広域連合、他自治体との人事交流を実施します。            ・計画的異動(ジョブローテーション)を実施します。            ・人事評価制度の改善運用を行います。            ・ストレスチェックを年に1回実施します。</p>	<p>総務課            行政庶務係</p>	<p>(達成状況・課題)            人材育成計画を策定した。            平成29年度長野県職員との人事交流を行う。            人事評価については、180度評価を検討したが、人材育成推進委員会のなかで人事評価そのもの見直し提案があった。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)            人事評価について、平成29年度に見直しを進める。</p>				
<p>②正規職員数の適正な確保</p>	<p><b>【01】定員管理計画の策定と見直し</b>  <b>●総人件費のバランスを考慮しつつ計画的な職員採用を行うため、定員管理計画を策定します。</b></p>	<p>総務課            行政庶務係</p>	<p>(達成状況・課題)            定員管理計画の見直しを平成28年に行った。業務が多くなり、残業が増える中、総合計画に掲げた目標値では業務の遂行が不可能であると考え、人員については、増加することになった。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)            平成28年4月の計画を土台に人員を増員した計画に見直しを行う。</p> <table border="1" data-bbox="999 1290 1442 1424"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員数(定員管理調査)</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	単位	職員数(定員管理調査)	人
目標指標	単位						
職員数(定員管理調査)	人						
	<p><b>【02】臨時非常勤職員の活用</b>  <b>●臨時・非常勤職員の人材を最大限活用するため、臨時・非常勤職員の担任業務を明確に規定します。</b></p>	<p>総務課            行政庶務係</p>	<p>(達成状況・課題)            臨時非常勤職員の雇用について地方公務員法の改正が行われた。今後は改正に見合った採用や雇用の継続を行っていく。育児休暇介護休暇等を取得できるように改正した。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)            地方公務員法に則り臨時非常勤職員の身分保障等を進める。</p> <table border="1" data-bbox="999 1648 1442 1767"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨時・非常勤職員数</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	単位	臨時・非常勤職員数	人
目標指標	単位						
臨時・非常勤職員数	人						

第4章 人と人が顔を合わせ 広くつながる

(達成状況・課題) 業務委託により、現状調査分析を行い、ITCにかかるコスト適正化、効率的業務のためのシステム運用及びセキュリティ対策を重点とした「松川町ICT最適化計画」原案を策定した。					進捗状況	(達成状況・課題) ICT最適化計画に基づいて、基幹系システムの定例会を3回実施し、システムの改善要望や制度改正によるシステム改修準備を行った。見積もり精査ガイドラインとシステム調達ガイドラインの原案を策定した。	基本事業の成果指標	以下のとおり	
(今後の取り組み・改善策) 計画原案について専門会議等から意見聴取を行った上で決定し、職員に周知を図る。民間活力活用事例について、情報収集を継続して行う。					/		【まちづくり政策課：B】 ICTに関するシステム、情報機器の在り方を、民間の専門機関の支援を受けながら検証し、「松川町ICT最適化計画」を策定して、コストの最適化や効業務の効率化、セキュリティ対策の向上を図った。		
(達成状況・課題) 上片桐区の事務支援を廃止し、納付金の減額を行った。							進捗状況	(達成状況・課題) 新たな進展なし。	次期計画の方向性
(今後の取り組み・改善策) 当面予定なし。					/		【住民税務課：C】		
(達成状況・課題) 人材育成計画に沿って研修計画の進行を図った。長野県、国土交通省との人事交流を図った。人事評価制度の見直しに取り組んだが、結論に至らなかった。							進捗状況	(達成状況・課題) 人事評価制度、新入職員メンター制度、国県人事交流、職員研修などに取り組んだ。人事評価制度の見直し作業は、改善の方向性を出したまでにとどまった。	次期計画の方向性
(今後の取り組み・改善策) 研修計画に沿って研修派遣を進める。人材育成に寄与する制度になるよう、人事評価制度について見直しを進める。					/		【住民税務課：維持継続】 地域の実情にあった形の支所の在り方や、存続について引き続き検討が必要である。		
(達成状況・課題) 定員管理計画の改正を進めたが、職員数の増加により目標値の設定に至らなかった。計画的に職員の定員管理を進めることが必要である。							進捗状況	(達成状況・課題) 業務量増化や職務遂行などにより、職員を増員し必要な体制を整えた。目標値の定員管理にはなっていない。	基本事業の成果指標
(今後の取り組み・改善策) 職員の定員管理を進めるための計画等を検討する。					/		現行の人事評価制度は課題がある状況で引き続き検討を行う。第3期人材育成計画はH31年度で終了するため、次期計画の策定が必要がある。		
(今後の取り組み・改善策) 職員の定員管理を進めるための計画等を検討する。							/		次期計画の方向性
H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明			
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値				
105	109	117	121		113	職員定員管理計画に基づいた数値とします。			
(達成状況・課題) 非常勤職員制度の説明会を開催し、労働条件について説明を行った。継続希望調査の折に、人事評価書の提出を依頼した。					進捗状況	(達成状況・課題) H32年度から導入される会計年度任用職員制度の対応ため、職員の実態調査を行った。	基本事業の成果指標	B	
(今後の取り組み・改善策) 平成32年度から会計年度任用職員制度が導入されるため、制度に沿った雇用条件を整備していく。					/		定員管理計画の見直しと会計年度任用職員制度の設計に取り組む必要がある。		
(今後の取り組み・改善策) 平成32年度から会計年度任用職員制度が導入されるため、制度に沿った雇用条件を整備していく。							/		次期計画の方向性
H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明			
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値				
75	79	84	86		75	現状水準を維持します。			

## 第4章 人と人が顔を合わせ 広くつながる

<p>③人材の育成</p>	<p><b>【01】分限処分取扱要綱の適確な運用</b>  <b>●職員および役場組織の公正かつ誠実な職務遂行を確保するため、勤務実績不良等職員の分限処分について適確な運用を行います。</b>          ・人事評価結果に基づく指導対象職員への改善指導を確実に実施します。</p>	<p>総務課 行政庶務係</p>	<p>(達成状況・課題)          成績不良職員の改善指導について、指導方法が確立しておらず、改善できていない職員があり、公平な運用ができなかった。連続して下位評価の職員を上位にできる指導が難しい。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)          人事評価について、平成29年度に見直しを進めることにしたため、分限処分についての運用も併せて見直すことにしたい。連続して下位になる職員の職種配置替えを行う。</p>						
<p>④公正な報酬</p>	<p><b>【01】報酬審議会の開催</b>  <b>●適切な報酬水準を維持するため、報酬審議会を定期的に実施します。</b>          ・報酬審議会を開催し、特別職の報酬等について審議を行います。</p>	<p>総務課 行政庶務係</p>	<p>(達成状況・課題)          平成29年2月に報酬審議会を行った。報酬については改定がなく、賞与について改定を行った。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)          定期的を実施する。</p>						
<p><b>(3) 健全な財政運営</b></p>									
<p>①計画的な財政運営</p>	<p><b>【01】中長期財政計画の運用と財務4表の作成</b>  <b>●持続可能な財政運営を見極めるため、中長期財政計画の運用と新地方公会計に対応します。</b>          ・新統一基準に基づく有形固定資産台帳の整備を進めます。          ・特別会計を含めた全会計を連結した財務4表への移行準備を進めます。          ・決算状況に基づき、必要に応じて中長期財政計画の見直しを行います。</p> <p><b>【02】公共施設等総合管理計画に基づく施設の適切な運用【新規】</b>  <b>●財政負担の軽減と、適切な施設運営のため、公共施設等管理計画に基づき、評価検討を行います。</b>          ・抽出された公共施設等について、意見聴取を行いながら方向性を決定し個別計画を策定し、適切に運用します。</p>	<p>まちづくり政策課 企画財政係</p> <p>まちづくり政策課 企画財政係</p>	<p>(達成状況・課題)          公表に向けたシステム導入及び有形固定資産台帳の整備は平成28年度をもって完了。H28分の公表はH30.1月末公表の予定で事務手順等を確認済であり、連結の対象となる会計及び団体の把握も完了している。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)          平成29年度は「新たな統一基準に基づいた公表を確実に実施すること」、「指標の根拠数値等の把握」、「類似団体や近隣町村との比較・分析」することを第一とする。指標結果を業務改善等へ活かしていくのは30年度以降の予定で準備を進</p> <table border="1" data-bbox="994 958 1437 1160"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実質公債費比率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(達成状況・課題)          H29.3月に計画(初版)をホームページにて公開。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)          国等から地方に対して個別計画策定に向けた要請等の動向を注視しながら、計画的に整備を進められるよう準備や情報収集を行う。</p>	目標指標	単位	実質公債費比率	%	経常収支比率	%
目標指標	単位								
実質公債費比率	%								
経常収支比率	%								

第4章 人と人が顔を合わせ 広くつながる

(達成状況・課題) 成績不良職員に対する指導方法が確立していない。どのような指導を行っていくか検討が必要である。	進捗状況 △	(達成状況・課題) 成績不良職員に対する指導方法が確立していない。	基本事業の成果指標 C どのような指導を行っていくか検討が必要である。			
(今後の取り組み・改善策) 成績不良職員に対する指導方法を確立し、計画的に指導を行っていく。	(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性 維持継続 指導方法を検討し継続して進める。			
(達成状況・課題) 平成30年2月に報酬審議会を開催した。報酬については改定がなく、賞与について改定を行った。	進捗状況 ◎	(達成状況・課題) 2月に報酬審議会を開催した。報酬については改定がなく、賞与について改定を行った。	基本事業の成果指標 A 適正な特別職の報酬審議を行うことができた。			
(今後の取り組み・改善策) 定期的の実施する。	(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性 維持継続 報酬額については毎年定期的な審議を行っていく。			
(達成状況・課題) 新統一基準(新地方公会計)に基づく財務書類はH30.3月に公表した。固定資産台帳の更新作業は計画どおり進めた。他団体の財務書類が年度末時点で公表されていないことから、比較分析は平成30年度の実施とする。	進捗状況 ○	(達成状況・課題) 固定資産台帳の更新を確実に実施し、連結財務諸表をH31.3月に公表した。他団体との比較分析は実施できなかった。	基本事業の成果指標 B 財務諸表の公表や長寿命化計画を整備、運用することで計画的な財政運営を図ることができた。しかしながら平成27年度に財政計画を策定して以降、決算等との比較分析が未実施で、計画の見直しができている。固定資産台帳の整備、財務諸表の公表については、国の通達どおりに整備し、公表することができるようになったが、業務改善等財政運営に活用することまでは至っていない。また、公共施設等総合管理計画の整備完了により、長期的な町の方向性を決定することになり、個別施設計画策定につながってきている。			
(今後の取り組み・改善策) 現在財務書類の作成を外部委託しているが、作成された書類の理解・分析をできる限り職員が作業できるように、先ず職員のスキル向上を図る。また公有財産の異動情報を担当係へ集約する仕組み作りを検討する。	(今後の取り組み・改善策)					
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	H31 実績値	H31 目標値	目標値の説明
9.1	7.2	7.2	7.4		9	健全数値とされる現状水準を維持します。
79.5	82.3	83.1	83.5		79	増加傾向にある状況を鑑み、70%台を維持します。
(達成状況・課題) 部門により、また補助事業適用条件として、個別施設計画策定の必要性が出ている。	進捗状況 ○	(達成状況・課題) 部署により個別施設計画の策定がされつつあるが、策定に当たりコンサルに委託するなどして費用が多額になる傾向にある。	次期計画の方向性 維持継続 経常収支比率の上昇を抑え、財政の硬直化を抑制するためには、計画的な財政運営が不可欠であり、引き続き、財務諸表の活用や財政計画の確実な運用などを実施する必要がある。			
(今後の取り組み・改善策) 町内全体の調整のため、情報提供や相談対応を行う。	(今後の取り組み・改善策)					

## 第4章 人と人が顔を合わせ 広くつながる

②自主財源確保と町有財産の利活用	<b>【01】町税等の徴収体制の強化</b> <b>●徴収業務の効率化と徴収率の向上を図るため、町税等の徴収について全庁徴収体制を整備します。</b> ・全庁収納対策会議を定期的に開催し、未収金徴収マネジメントを一括して行います。 ・町単補助事業等の助成制限により滞納税額の解消を図ります。 ・コンビニ収納等新たな納税方法の検討を行います。 ・職員の折衝力、各滞納処分の技術取得を行い、滞納者減少を図ります。	住民税務課 徴収係	(達成状況・課題) 収納率はほぼ前年並みを確保できる見込み。コンビニ収納について、北部3町村(高森町、喬木村、松川町)で担当者会議を開催し検討を行っている。				
			(今後の取り組み・改善策) コンビニ収納について、実施時期等の細部を詰めていきたい。				
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>町税収納率</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	単位	町税収納率	%
	目標指標	単位					
	町税収納率	%					
	<b>【02】固定資産税評価基準の再構築</b> <b>●固定資産税の適正公平な課税のため、宅地評価基準の見直しを行います。</b> ・画地に対する調査を行い、新評価基準を作成し、それを平成30年度の評価替えに反映します。	住民税務課 課税係	(達成状況・課題) 宅地の周辺状況調査などを実施し、新評価基準作成に向けて進めている。				
			(今後の取り組み・改善策) 北部町村共同での航空写真撮影の結果も資料として、国基準により則した新たな基準での課税に向け取り組んでいく。				
	<b>【03】町税等の電子申告サービス</b> <b>●税務関係書類の提出について、利便性を図るため、地方税電子申告サービス等を利用します。</b> ・個人住民税(給与支払報告書)、法人住民税、固定資産税(償却資産)では、eLTAXの利用を進めます。 ・軽自動車税の電子データによる賦課情報の受取りについて検討します。 ・税務署へ提出された確定申告書を電子データで受取りしています。今後、町で受付けした確定申告書を電子データで税務署に提出できるようにシステム改修について研究します。 ・給与支払報告書や他の申告書に記載されたマイナンバーを利用し、より適正な課税を行います。	住民税務課 課税係	(達成状況・課題) ・各税目で電子データによる賦課資料の受取りを行っている。 ・税務署へのデータ送信は、もう少し情報交換等が必要である。				
			(今後の取り組み・改善策) 今後一層eLTAXや電子申告等の普及を宣伝していきたい。				
	<b>【04】税外収入の確保</b> <b>●財源確保のため、広告掲載事業の拡充やふるさと納税を推進します。</b> ・ホームページを利用したりリアルタイムな情報提供により、広告主および掲載媒体の拡大を図ります。 ・ふるさと納税制度の拡充について随時検討・取り組みを行います。	まちづくり政策課 企画財政係	(達成状況・課題) 平成28年度は共通使用封筒へ町制60周年記念封筒デザインとして広告を掲載しなかった為広告事業による収入は例年より減少した。現在、「広報紙」「窓付封筒」「窓口用封筒」へ掲載中。ふるさと納税についての地元特産品を返礼品として追加するなどして(平成28年度末51品)寄附の募集拡大を図った。				
			(今後の取り組み・改善策) 総務省より「返礼割合3割以内」「節度ある対応」等の要請が出されているなかで、単に特産品目当ての寄附者だけでなく、町の「魅力ある」取り組み(寄附金の使途)に対して賛同してもらい、寄附を募る仕組みづくりを検討していく。				
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>くだものの里まつかわ応援寄附金額</td> <td>千円</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	単位	くだものの里まつかわ応援寄附金額	千円
目標指標	単位						
くだものの里まつかわ応援寄附金額	千円						
	<b>【05】借受不動産賃借料の適正化</b> <b>●適切な公有地確保に資するため、借受不動産の見直しを進めます。</b> ・契約期間満了を迎える借受不動産について、賃貸借料基準に基づく改訂を進めます。 ・借受不動産の妥当性について検証します。	まちづくり政策課 企画財政係	(達成状況・課題) 新たな借り受け物件については基準を適用するよう指導しているが、過去からの借り受け分については実施できていない。				
			(今後の取り組み・改善策) 現状での借受不動産の把握及び基準との整合性を調査し、契約更新時等に改訂を促していく。				

第4章 人と人が顔を合わせ 広くつながる

(達成状況・課題) 収納率は、滞納繰越分の納付が増え、アップする見込みである。 コンビニ収納について、飯田市へ共同事務を申し込んだが、最終的にできないとの回答であった。					進捗状況 ◎	(達成状況・課題) 税・料金の収納対策会議開催により収納率は、現年・滞納繰越分共に納付が増えた。コンビニ収納は、下伊那4町村により、平成31年度予算化、平成32年4月1日実施に向け進んでいる。	基本事業の成果指標 以下のとおり 【住民税務課徴収係:A】 ・税と料金担当課による収納対策会議を年2回開催し、未納者を共有、収納時に税・料金を同時に収納した。税・料金を年金差押し収納した。 ・町単補助事業等の助成制限により、短期・中期滞納者の解消が図れた。 ・コンビニ収納は、下伊那4町村(松川町、高森町、喬木村、阿智村)で、平成31年度予算化し、各関係機関との調整をして、税、上下水道料を平成32年4月1日より実施していく。
(今後の取り組み・改善策) コンビニ収納は、引続き北部3町村(高森町、喬木村、松川町)で検討を行っていく。					(今後の取り組み・改善策)		
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 見込み	H31 実績値	H31 目標値	目標値の説明	【住民税務課課係:B】 当町における固定資産税土地評価は、近隣自治体に比べて宅地状況類似地区数が著しく少ない。また、現在使用している宅地状況類似地区は古くから利用されているもので、現在の土地利用の実態と大きくかけ離れたものである。今後は宅地状況類似地区の再編を行い、評価の精度を上げていく必要がある。また、現在宅地のみの方策となっている固定資産税事務取扱要領は未整備地目や家屋の整備を行い、公平な課税を推進していく。
99.1	99.0	99.1	99.3		99	現状水準を維持します。	
(達成状況・課題) 宅地の画地調査を終了し、固定資産評価事務取扱要領(宅地)の作成が完了した。					進捗状況 ○	(達成状況・課題) 固定資産評価事務取扱要領作成は予定どおり完成した。また画地に関する調査と新評価基準作成した。	【まちづくり政策課:B】 ふるさと納税による収入増は、自主財源の確保につながる、これにより保育園の冷房設備の設置や公用車(マイクロバス等)の整備を一般財源を使用することなく実施できた。
(今後の取り組み・改善策) 新たな固定資産評価基準により公平な課税を心掛けていく。					(今後の取り組み・改善策)		
(達成状況・課題) ・各税目で電子データによる賦課資料の受取りを行っている。 ・税務署へのデータ送信について、国は普及を進めていますが住民サービスの向上等のメリットについてもう少し検討が必要である。					進捗状況 ○	(達成状況・課題) 地方税電子申告サービスについて住民が国税庁のHPにおいて申告したデータについてはLeLTaxにより受信する環境は確保している。	【まちづくり政策課:B】 ふるさと納税による収入増は、自主財源の確保につながる、これにより保育園の冷房設備の設置や公用車(マイクロバス等)の整備を一般財源を使用することなく実施できた。
(今後の取り組み・改善策) 平成31年10月に地方税納税システムを稼働し、法人住民税と個人住民税(給与特徴)の納税データの受信が開始される予定であり、それに向けてシステムの改修と職務体制の確保を会計部局との連携を図ります。					(今後の取り組み・改善策)		
(達成状況・課題) 広告掲載事業については、これまで同様の媒体に対して、申請の都度掲載対応をした。ふるさと納税について、総務省からの通達に沿った運用(返礼率3割以下)への変更を完了した。ふるさと納税返礼品の開発と、寄附増額を目的とし、南信州まつかわ観光まちづくりセンターへ、ふるさと納税返礼関係業務の外部委託を行うこととし、準備を行った。					進捗状況 ◎	(達成状況・課題) 広告掲載事業については、これまで同様の媒体に対して、申請の都度掲載対応をした。ふるさと納税について、国の通達に沿った運用を行った。4月よりふるさと納税管理業務を南信州まつかわ観光まちづくりセンターへ委託した。	次期計画の方向性 以下のとおり 【住民税務課課係:維持継続】 国は地方税の電子申告、電子納税を推進しており、確定申告等のデータの送受信によるペーパーレス化が一般的になる他、納税等については電子マネー等が普及すると思われます。このような社会環境の変化に対応し住民の要求に応えられるよう職員の資質向上やハードの整備を計画的に推進していく必要があります。 【まちづくり政策課:維持継続】 余裕のある財政状況ではないことから、ふるさと納税や未利用地の売却などにより今後も自主財源の確保が求められる。また新たな財源を確保することで、住民サービスの向上につながることから、積極的に自主財源の確保に努める必要がある。
(今後の取り組み・改善策) 業務の一部を外部委託した分、町は魅力ある事業の提案や、クラウドファンディング型の寄附募集など新たな取り組みを研究していく。					(今後の取り組み・改善策)		
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	H31 実績値	H31 目標値	目標値の説明	
19,825	47,005	41,637	53,842		50,000	増加傾向にある状況を鑑み、施策による増加分を見込みます。	
(達成状況・課題) 新たな借受物件については、協議の際に基準を適用するよう指導しているが、過去からの借り受け分については実施できていない。					進捗状況 ○	(達成状況・課題) 新たな借受物件については、協議の際に基準を適用するようになっているが、過去の分については当時の経過があり見直しができている。	
(今後の取り組み・改善策) 現状での借受不動産の把握及び基準との整合性を調査し、かい離が著しい案件から、対応策を研究していく。					(今後の取り組み・改善策)		

## 第4章 人と人が顔を合わせ 広くつながる

<p>③情報セキュリティ対策</p>	<p><b>【01】情報セキュリティ対策</b>          ●町の情報資産を脅威から保護し、適正に管理するため、<b>情報セキュリティ対策を講じます。</b>          ・マイナンバー制度を見据えた、庁内ネットワーク構成の見直しを行います。【新規】          ・松川町セキュリティ委員会を定期的に開催し、必要な対策について検討します。          ・緊急事態の発生した際には、セキュリティポリシーに基づいた適正な対応を行います。          ・職員に対するセキュリティ研修会を開催します。</p>	<p>まちづくり政策課 まちづくり推進係</p>	<p>(達成状況・課題) 総務省の指針によるマイナンバーに対応したセキュリティ強化対策を実施したが、業務効率が低下しており、それに対する対策が必要。セキュリティポリシーの改定に合わせて、職員に対するセキュリティ研修会を行った。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) セキュリティの水準を確保しつつ、業務の効率化を改善する仕組みを構築するよう検討を行う。職員の意識を保つためにセキュリティ研修会を継続して行う。</p>
<p>第2項 魅力を発信し、交流する地域づくり(地域間交流・広域行政)</p>			
<p>基本事業</p>	<p>事業の内容</p>	<p>担当課係名</p>	<p>平成28年度評価</p>
<p>(1) 地域間交流の推進</p>			
<p>①都市部・他市町村との交流</p>	<p><b>【01】他市町村等の交流事業の展開</b>          ●都市部との交流推進および他市町村等との交流・親善を深めるため、<b>交流事業を展開します。</b>          ・牧之原市、蓮田市との交流事業を実施し、各種団体による交流を支援していきます。          ・関東、関西松川町の会との交流を行うとともに、会の運営に協力します。          ・新たな自治体との特産品、文化等を通じた交流を研究します。          ・地域住民と連携した大学との連携事業を実施します。</p>	<p>まちづくり政策課 まちづくり推進係</p>	<p>(達成状況・課題) 町制施行60周年を機に、蓮田市とは友好姉妹都市の締結へと友好関係を発展させた。関西信州松川町の会の定例総会の開催に協力した。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) 新たな自治体との交流について、調査研究を行う。大学連携について、他市町村の取り組み状況を集約するとともに、その方向性について検討を行う。</p>
<p>②町の魅力発信</p>	<p><b>【01】広報大使・ふるさと大使を活用した町の魅力発信</b>          ●大勢の町内外の方へ松川町の魅力を知ってもらい、<b>新たな交流へつなげるため、広報大使等を活用します。</b>          ・県内外で行われるイベントにおいて広報大使を活用し、町の魅力を発信します。          ・ふるさと大使を設置し、連携しながら松川町をPRします。</p>	<p>まちづくり政策課 まちづくり推進係</p>	<p>(達成状況・課題) 広報大使を活用し、特に県外のイベントにおいて町をPRした。町制施行60周年を機に、ふるさと大使を新たに3名委嘱した。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) 広報大使、ふるさと大使に更なる町のPRをお願いするとともに、広報大使・もりちいの故郷である広島県三原市との交流について検討を行う。</p>
<p>③三遠南信地域との連携</p>	<p><b>【01】三遠南信地域との連携推進</b>          ●県境を越えた三遠南信地域の地域活性化を図るため、<b>連携事業を推進します。</b>          ・三遠南信地域連携推進ビジョン推進会議に参画し、地域連携の推進を検討します。          ・三遠南信自動車道の整備について期成同盟会等と連携し要望行動を実施します。</p>	<p>まちづくり政策課 まちづくり推進係</p>	<p>(達成状況・課題) 三遠南信地域連携推進ビジョン推進会議に参画し、地域連携の推進について検討を行った。三遠南信自動車道の整備について、期成同盟会等と連携し要望活動を行った。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) 引き続き、三遠南信地域の地域活性化を図るため、三遠南信地域の連携事業を推進する。</p>
<p>④広域連携</p>	<p><b>【01】広域行政と定住自立圏の連携</b>          ●効率的な広域行政と南信州圏域の活性化を図るため、<b>広域連携を進めます。</b>          ・南信州広域連合第4次広域計画を推進します。          ・定住自立圏構想に基づき、協定締結による広域連携を進めます。          ・下伊那北部総合事務組合を事務局とした情報交換、業務連携を推進します。          ・中部伊那や上伊那市町村との連携を検討します。</p>	<p>まちづくり政策課 まちづくり推進係</p>	<p>(達成状況・課題) 定住自立圏構想に基づいた協定締結による広域連携を進めた。下伊那北部総合事務組合を事務局とした情報交換、業務連携を推進した。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) 中部伊那や上伊那市町村との連携について、検討を行う。</p>

第4章 人と人が顔を合わせ 広くつながる

(達成状況・課題) トラブルが発生した際は、セキュリティポリシーに基づいた適正な対応を実施した。 毎年1回の開催が規定されている職員に対するセキュリティ研修会を開催した。	進捗状況 ○	(達成状況・課題) 職員を対象としたセキュリティ研修会を実施した。 統合型GIS及びホームページサーバのデータセンター化を実施し、セキュリティを強化した。	基本事業の成果指標 B インターネット系とLGWAN系ネットワークの分離を図るなど、庁内ネットワーク構成の大幅な見直しを行い、LGWAN系ネットワークのセキュリティを強化した。
(今後の取り組み・改善策) セキュリティの維持のため、職員研修会を継続して開催する。	(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性 維持継続 インターネット系とLGWAN系のネットワークを分離しハード面では大きな対策を施したことから、今後は、外部記憶装置の取扱い等人的エラーの発生防止の観点からセキュリティ対策の強化を図っていく。
平成29年度評価		平成30年度評価	
平成29年度評価		総括評価	
(達成状況・課題) 蓮田市関係イベント(5回)に参加し、町特産品の販売等を行った。 「関東地区松川町の会」「関西信州松川町の会」両総会の開催に協力し、総会時に交流を行った。 産業観光課と共に横浜国大のゼミ活動のコーディネートを行い、また、研究発表会を開催した。	進捗状況 ○	(達成状況・課題) 蓮田市との交流事業を4回実施した。 11月には、関西松川町の会の総会に参加した。	基本事業の成果指標 B 蓮田市、関東地区松川町の会、関西信州松川町の会等、交流事業を継続的に実施し、都市部へ松川町の魅力発信を行うとともに、交流が深まった。
(今後の取り組み・改善策) 新たな自治体との交流について、機会を伺う。 大学連携について、関係課と連携した誘致とコーディネートを行う。	(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性 維持継続 交流人口の増加に向けて、引き続き都市部との交流促進を図る。
(達成状況・課題) 広報大使を活用し、蓮田市や都内などのイベントで町のPRを行った。 ふるさと大使に名刺を託し、町のPRを依頼している。	進捗状況 ○	(達成状況・課題) ふるさと大使を新たに2名委嘱し、県内外で行われるイベントを通じて松川町のPRを行った。	基本事業の成果指標 B 広報大使・ふるさと大使を活用して、幅広く県内外へ松川町の魅力のPRを行った。
(今後の取り組み・改善策) にやんたぶうに、H30.4月から広報大使第3期目を委嘱する。 11名のふるさと大使から、活動状況、意見等を聞き取る。	(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性 維持継続 関係人口、交流人口の増加に向けて、引き続き県内外へ松川町の魅力を発信する。
(達成状況・課題) 三遠南信地域連携推進ビジョン推進会議において、ビジョン改訂に参画した。 三遠南信自動車道の整備について、期成同盟会等と連携して要望活動を行った。	進捗状況 ○	(達成状況・課題) 第2次三遠南信地域連携ビジョンの策定に向け、プラットフォームづくりについて等市町村間で意見交換を行った。 三遠南信自動車道の整備について、期成同盟会と連携して要望活動を	基本事業の成果指標 B 三遠南信地域連携ビジョン推進会議を通じて、地方創生への取り組みや行政課題等について、市町村間で意見交換を継続的に行った。 今後、連携の内容や方法を具体的に検討していくことが必要である。
(今後の取り組み・改善策) 引き続き、三遠南信地域の地域活性化を図るため、三遠南信地域の連携事業を推進する。	(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性 維持継続 第2次三遠南信地域連携ビジョンに基づき、交流・連携活動の深化や広域生活圏の形成等の県境を越えた地域間連携を推進する。
(達成状況・課題) 南信州広域連合は、第4次広域計画書に沿った広域行政を進めている。 定住自立圏形成に関する協定による飯田市との関係事業を推進している。 下伊那北部総合事務組合による業務の推進と、ワーキンググループ活動による情報交換や事務事業の研究を実施している。	進捗状況 ○	(達成状況・課題) 休日夜間急患診療の運営等、第2次定住自立圏共生ビジョンに基づいて事業を推進した。 各政策分野、テーマごとに北部5市町村の担当者間で情報交換と業務連携の研究を行った。	基本事業の成果指標 B 定住自立圏共生ビジョンや北部5市町村のワーキンググループ活動などの実施の他、各自自治体の共通課題・目標となる移住・定住の推進を共同で行うなど、南信州圏域の広域連携体制の整備が進んだ。
(今後の取り組み・改善策) 広域行政による効果的で経済的な事業を継続して推進する。	(今後の取り組み・改善策)		次期計画の方向性 維持継続 第3次定住自立圏共生ビジョンをもとに、単独自治体で解決の難しい行政課題の解決に向けた広域連携を継続的に推進する。

## 第4章 人と人が顔を合わせ 広くつながる

第3項 地域の魅力が伝わる観光づくり(観光)			
基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価
<b>(1) 松川町のファンを増やす観光戦略の推進</b>			
①松川町のファンを増やす観光戦略の推進	<b>【01】松川町のファンを増やす観光戦略の推進</b> <b>●観光産業の振興を図るため、松川町のファンを増やす観光戦略を展開します。</b> ・松川町観光協会主催事業を実施します。 ・松川町内直売所(信州松川くだもの観光協会、あい菜果、松川IC選果場直売所もなりん)の情報交換会を実施し、連携を図ります。 ・銀座NAGANOや首都圏観光キャンペーン等でのPR事業を実施します。 ・山岳観光に関する検討を実施します。【新規】 ・農村観光交流センターみらいでの旅行業取り扱い(町内観光ツアー等)を開始します。【新規】	産業観光課 商工観光係/観光局設立準備室	(達成状況・課題) ・首都圏及び中京方面へ農園参加のマルシェを実施し、農産物のほか加工品やシードルのPRを行った。 ・ふるさと登山の会と連携し、登山道への標識、烏帽子岳への標柱設置を行い、今後の山岳観光推進のための足掛かりとなった。 ・松川町版DMOの設立準備及び観光交流地域づくり推進事業に着手した。
			(今後の取り組み・改善策) ・観光協会と農園との連携を図り、販売促進、観光PRを実施する。 ・元気づくり支援金を申請し、登山道整備等を行って山岳観光を推進する。 ・松川町版DMOをH30年3月までに設立するとともに、地方創生推進交付金を活用した事業を推進する。
		目標指標	単位
		観光人口	百人
	<b>【02】くだもの観光の推進</b> <b>●くだもの観光産業を推進するため、松川町のくだものを活用した取組を展開します。</b> ・信州松川くだもの観光協会の受入体制(農村観光交流センターみらいの窓口)の支援を拡充します。 ・直売所「もなりん」や「あい菜果」と連携した取組を検討実施します。【新規】 ・果樹宣伝対策補助事業(ふじ祭り等)を実施します。	産業観光課 商工観光係/農業振興係/観光局設立準備室	(達成状況・課題) ・みらいの利用者12540名。リニューアルに着手。観光案内所として看板の設置、案内カウンターの設置を行った。 ・さくらんぼの受け入れについて、農園の負担が減るように事務の一部を請け負い、実施した。 ・ふじ祭りについては、中央公民館前での開催が定着してきている。
			(今後の取り組み・改善策) ・くだもの観光協会の会員増のため、窓口案内を充実する。 ・さくらんぼの受入件数が増加しており、受け入れ態勢の検討が必要です。予約受け入れについて視察等を行い、検討する。 ・あい菜果、もなりん、JA祭などふじに関するイベントが続くことから、ふじ祭りの開催日について検討が必要である。
		目標指標	単位
		信州松川くだもの観光協会農家数	軒

第4章 人と人が顔を合わせ 広くつながる

平成29年度評価					平成30年度評価		総括評価			
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>7年ぶりのDCキャンペーンの実施で、観光PR事業を行った。また北部5町村をつなぐツアーなどを実施した。</li> <li>南信州シードル連絡会議の発足を計画し、関係団体、行政にも呼びかけた。</li> <li>松川町観光協会は発展的解散として、(一社)南信州まつかわ観光まちづくりセンターが発足した。</li> <li>観光局設立検討委員会11回、準備委員会2回、観光交流地域づくり戦略会議11回を開催し、平成30年3月23日に(一社)南信州まつかわ観光まちづくりセンターの設立総会を行った。</li> <li>観光交流地域づくりセミナー3回を開催し、観光まちづくりについて認識を高めることができた。</li> <li>戦略会議を通じて滞在交流プログラム造成を行い、モニターツアーを8回実施した。</li> </ul>					<p>進捗状況</p> <p>○</p>		<p>(達成状況・課題)</p> <p>南信州まつかわ観光まちづくりセンターが設立され、観光ワンストップ窓口の開設した、滞在交流プログラム開発、観光資源とするための旧松川青年の家のあと利用検討、ツリードームの企画運営を行った。</p> <p>南信州シードル協議会を発足し、シードルを活用した観光PRを実施。銀座NAGANO松川町の日の解禁イベント、シードル列車など行った。</p> <p>ふるさと山の会のみなさんと開山式を実施し、登山道の管理など連携した。</p>		<p>基本事業の成果指標</p> <p>C</p> <p>観光まちづくりセンター設立1年目でもあり、今後の展開に期待するところである。</p> <p>シードル協議会、ふるさと登山の会とは今後も連携していく必要があり、まちづくりセンターが主体的に関わる方向性を検討する。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>元気づくり支援金を使って今後も様々な事業を計画する。</li> <li>発足した新たな組織とともに、観光地域づくりを目指す。</li> <li>1人1人にあった観光案内や、地域の皆さんとのつながりを大事にする。</li> <li>元気づくり支援金を申請し、山やシードル関係の事業を進め、地域の皆さんの活動を支援していく。</li> <li>(一社)南信州まつかわ観光まちづくりセンターに業務を委託し、協力し、観光振興に努める。</li> </ul>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<p>次期計画の方向性</p> <p>維持継続</p> <p>観光まちづくりセンターが主体となり町が目標とする観光地域づくりを進める。</p>			
H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明				
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値					
2,634	2,832	2,963	2,663		3,000	施策による増を見込みます。				
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>みらいのリニューアルが終わり、9月にオープンした。各種会議やイベント、直売所の説明会などの利用が進んでいる。</li> <li>直売所の連絡会議を実施した。それぞれの活動報告を行い、今後、1年間の活動に向けての協議を行った。</li> <li>さくらんぼ狩りの案内は1日に受け入れられる人数、バスの受入時間などの把握により、スムーズに</li> </ul>					<p>進捗状況</p> <p>○</p>		<p>(達成状況・課題)</p> <p>南信州まつかわ観光まちづくりセンターと連携し、観光ワンストップ窓口を開設した。くだもの狩りパンフレットの配布を積極的に行うとともに簡易版の作成を行った。</p>			
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(一社)南信州まつかわ観光まちづくりセンターの発足により、専門的な案内が期待できることから、くだもの観光協会との連携をさらに深め、お客様に満足いただける窓口案内を充実させる。</li> <li>12月に入ってからふじ祭りを実施することが定着している。今後、りんごの販売以外のものを研究したい。</li> <li>(一社)南信州まつかわ観光まちづくりセンターに業務を委託し、観光案内所の充実を図り、果物狩り手配だけでなく、様々な情報を一元化して発信する</li> </ul>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>					
H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明				
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値					
62	60	58	60		66	施策による増を見込みます。				

## 第4章 人と人が顔を合わせ 広くつながる

	<p><b>【03】地域資源保全型観光の推進【新規】</b></p> <p>●地域資源を生かした観光産業を推進するため、松川町の地域資源を学び、保全し、磨きをかけ利活用する取組を展開します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元学の考えに基づく学びの場を継続します。</li> <li>・地域のお祭り等の行事や歴史などに目を向け、地元の人が再認識できる活動に繋がります。</li> </ul>	<p>産業観光課 商工観光係／観光局設立準備室</p>	<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習と案内を続けることで、活動への意欲がわき、会以外の皆さんとの交流を行った。</li> <li>・町民有志実践型WSとして観光交流地域づくり戦略会議を開催し、地域ブランドの策定、滞在交流プログラムの開発に取り組んでいる。</li> </ul> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員自らのプログラム作成により、住民の皆さんにしていいただく機会をつくる。また、みらいでの地元案内を行う。</li> <li>・観光交流地域づくり戦略会議において地域ブランドと滞在プログラムを具現化する。</li> </ul>				
<p>②清流苑、リフレッシュタウンまつかわの里の利用促進</p>	<p><b>【01】町営温泉宿泊施設清流苑の運営</b></p> <p>●住民および観光客の保養宿泊施設として、町営温泉宿泊施設清流苑を運営します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清流苑経営会議における長期的経営方針等の検討を実施します。</li> <li>・おもてなしと癒しの宿として、接客力の向上と、リピーター客の獲得、サービスメニューの充実に取り組んでいます。</li> </ul>	<p>産業観光課 まつかわの里係</p>	<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊者数、入湯者数ともに、目標値を達成することができている。しかし、人口減少による国内旅行者の減及び慢性的な人手不足という、これからの日本の人口推移から考えられる影響がすでに出てきている。今後の状況を注視し、取り組んでいく。</li> </ul> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の観光局(仮称)立ち上げに伴う戦略会議における意見を取り入れ、清流苑独自の魅力発信に努めていく。</li> <li>・H27より取り組んでいるDMの充実を図り、利用促進に努める。</li> <li>・入湯料の増額と、人手不足解消のための人材確保に努めていく。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="995 1115 1453 1227"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>清流苑入湯者数</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	単位	清流苑入湯者数	人
目標指標	単位						
清流苑入湯者数	人						
	<p><b>【02】リフレッシュタウンまつかわの里スポーツ施設の運営</b></p> <p>●住民と観光客の保養スポーツ施設として、リフレッシュタウンまつかわの里スポーツ施設を運営するとともに、利用拡大に向けた取り組みを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パターゴルフ場、屋内スポーツ施設、ゲートボール場、テニスコート等の施設を管理運営します。</li> <li>・フォレストアドベンチャー松川の運営を行います。清流苑と連携した利用促進を図ります。</li> <li>・森林セラピー基地を利用したノルディックウォーク等のメニューを実施します。</li> </ul>	<p>産業観光課 まつかわの里係</p>	<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内スポーツ施設人工芝化に伴い、スポーツ施設全体における利用者数は20,932名、140%増となっている。</li> <li>・パターゴルフ場については、さらに厳しい状況となっており、要検討である。</li> <li>・フォレストアドベンチャーにおいては、試算通り現在順調に推移している。安全第一に運営をしていく。</li> </ul> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パターゴルフ場については、要検討としており、研究をしている。今後、まとめるなかで、方向性を示してまいりたい。フォレストアドベンチャーについては、さらなる利用促進を図るため、企業研修を取り入れるため、人材育成を進め取り組んでま</li> </ul> <table border="1" data-bbox="995 1630 1453 1751"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フォレストアドベンチャー松川利用者数</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	単位	フォレストアドベンチャー松川利用者数	人
目標指標	単位						
フォレストアドベンチャー松川利用者数	人						

(達成状況・課題) ・学校からの依頼や、会員自身が企画して行う地域案内講座など自主的な活動を行った。賛助会員の皆さんにもお集まりいただき、地域で暮らす中に観光があることを見出せた。 ・観光局の発足を目指す中で、戦略会議を実施し、交流プログラムも生まれてきている。 ・観光交流地域づくり戦略会議は、地域ブランドを言語化し、(一社)南信州まつかわ観光まちづくりセンターの経営理念となった。また、滞在交流プログラムの造成も行き、8回のモニターツアーを実施し					進捗状況 △	(達成状況・課題) 滞在交流プログラムの企画を進めた。神社の祭り体験、お寺体験、朝散歩などのモニターツアーを行った。																								
(今後の取り組み・改善策) ・みつけに出演の皆さんとも連携して町を紹介していく。 ・(一社)南信州まつかわ観光まちづくりセンターの事業により、滞在プログラムの造成、販売促進を支援する。 ・(一社)南信州まつかわ観光まちづくりセンターと協力し、引き続き、戦略会議のような一人でも参加できる仕組みを作り、地域ブランドを掘り下げ、それらを体感できるプログラム作りを行う。					(今後の取り組み・改善策)																									
(達成状況・課題) ・入湯者数は、平成29年度総数163,175名で大幅増となったが、宿泊者数は減少した。 ・人口減少等の状況において、宿泊者数増の対応が第一の課題である。					進捗状況 ○	(達成状況・課題) ・入湯料の料金改定を行ったことで入湯者数は減少し、入湯料の収入減となったが大きな落ち込みは無かった。 ・宿泊者数が減少したため、更なる対策が必要である。	基本事業の成果指標 B																							
(今後の取り組み・改善策) ・宿泊者数の増が収入に直結することから、第一の課題と考え、業務にあたる。 ・新たな取り組みとして、(一社)南信州まつかわ観光まちづくりセンターとの連携を図り、新規のお客さまの増加へつなげる。 ・現場において、DM(ダイレクトメール)を中心にリピーター向けの取り組みを継続して行う。					(今後の取り組み・改善策)																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 12.5%;">H26</td> <td style="width: 12.5%;">H28</td> <td style="width: 12.5%;">H29</td> <td style="width: 12.5%;">H30</td> <td style="width: 12.5%;">H31</td> <td style="width: 12.5%;">H31</td> <td style="width: 50%;">目標値の説明</td> </tr> <tr> <td>基準値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>145,560</td> <td>156,467</td> <td>163,175</td> <td>135,977</td> <td></td> <td>146,000</td> <td>現状の水準を維持します。</td> </tr> </table>					H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値		145,560	156,467	163,175	135,977		146,000	現状の水準を維持します。					
H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明																								
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値																									
145,560	156,467	163,175	135,977		146,000	現状の水準を維持します。																								
(達成状況・課題) ・屋内スポーツ施設及びテニスコート利用の増により、大幅に利用者が増となった。 ・パターゴルフ場についてはさらに厳しい状況となっており、検討が必要である。 ・フォレストアドベンチャーにおいては、本年度の目標は達成できた。					進捗状況 ○	(達成状況・課題) ・パターゴルフ場以外は、新規事業等を進める中で、一定の効果をできたので、今後も同様に進める。パターゴルフ場については、H31年度中に今後の方針等検討をすすめたい。 ・フォレストアドベンチャーについては、計画的に進んでおり、今後も一層の集客に向けて進める。	次期計画の方向性 維持継続																							
(今後の取り組み・改善策) ・パターゴルフ場について検討をする。 ・フォレストアドベンチャーは、平日の集客として企業研修、教育プログラムに向けて、観光まちづくりセンターと連携を図る中で利用促進に努める。					(今後の取り組み・改善策)																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 12.5%;">H26</td> <td style="width: 12.5%;">H28</td> <td style="width: 12.5%;">H29</td> <td style="width: 12.5%;">H30</td> <td style="width: 12.5%;">H31</td> <td style="width: 12.5%;">H31</td> <td style="width: 50%;">目標値の説明</td> </tr> <tr> <td>基準値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2,368 (7月～3月)</td> <td>6,145</td> <td>6,616</td> <td>6,728</td> <td></td> <td>8,000</td> <td>施策による増を見込みます。</td> </tr> </table>					H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値		2,368 (7月～3月)	6,145	6,616	6,728		8,000	施策による増を見込みます。					
H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明																								
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値																									
2,368 (7月～3月)	6,145	6,616	6,728		8,000	施策による増を見込みます。																								
					事業の方向性、目標値ともに、継続して進める。パターゴルフ場については、運営方法及び別の事業等をふまえ検討する。																									

## 第4章 人と人が顔を合わせ 広くつながる

	<p><b>【03】リフレッシュタウンまつかわの里室内温水プールの運営</b>          ●住民と観光客の保養スポーツ施設として、リフレッシュタウンまつかわの里室内温水プールを運営するとともに、利用拡大に向けた研究を行います。          ・清流苑と合わせたパックプランの充実を図ります。</p>	産業観光課 まつかわの里係	<p>(達成状況・課題)          ・平成28年度42,000人を超え、利用者数は横ばいである。ピーク時以外での利用促進について、今後一層取り組んでいくことが必要である。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)          ・温水プールをまず知っていただくために、水中パフォーマンスショーなどを計画し実施している。          ・イベントだけでなくとどまらず、利用促進につながるような事業運営をしていきたい。</p>				
③都市農村交流の推進	<p><b>【01】都市農村交流等の推進</b>          ●松川町の農山村の地域づくりを活性化させるため、都市と農村交流事業を推進します。          ・受入農家の簡易宿泊免許取得のための補助を行います。【新規】          ・農家と農業体験者等とのマッチングを行い、受入農家の拡大を図ります(ワーキングホリデー等)。          ・グローバルな人材交流事業を展開します。【新規】</p>	産業観光課 農業振興係/商工観光係	<p>(達成状況・課題)          ・定期的な単独セミナーを実施することで、体験ツアーの参加も多くあった。          ・中国からの学校交流、ホームステイを実施した。          ・南信州観光公社との連携により、ホームステイについては、特定の学校より継続して受入を行うなど、定着してきている。          ・大学生の受入も行っているが、学校により温度差があるため、受入には慎重な対応が必要である。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)          ・ホームステイの受入農家において、海外からの受入等ができるよう、研修会を実施する。          ・ホームステイ受け入れ農家の高齢化、家庭内の介護等の問題により、個別の支援対策が必要である。          ・世界規模で考え、地域で活動するためには、途</p> <table border="1" data-bbox="995 981 1445 1111"> <tr> <td>目標指標</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>移住等現地見学会(体感ツアー)参加者数</td> <td>人</td> </tr> </table>	目標指標	単位	移住等現地見学会(体感ツアー)参加者数	人
目標指標	単位						
移住等現地見学会(体感ツアー)参加者数	人						
<b>第4項 多くのひとが定住したくなるまちづくり(移住・定住)</b>							
基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価				
<b>(1) 住宅確保の支援</b>							
①住宅確保の支援	<p><b>【01】定住促進の宅地分譲および住宅の整備</b>          ●町内への定住を促すために、土地開発公社を通じた宅地分譲・販売を行うとともに賃貸住宅を整備します。          ・名子原県住跡地、上片桐専用側線跡地等の町有地を活用した宅地分譲を検討し、優先度を鑑みながら整備を進めていきます。          ・若者の定住を促進するための賃貸住宅整備の検討を進めます。【新規】</p> <p><b>【02】町営住宅の管理運営と長期方針の検討</b>          ●町営住宅の安全な住環境を維持し、今後の住宅方針を検討します。          ・公共施設等管理計画等と整合を図りながら、町としての町営住宅のあり方を検討します。</p>	まちづくり政策課 まちづくり推進係	<p>(達成状況・課題)          土地開発公社が現在所有する南森林分譲地の完売に向け、ホームページのほか、町内外の不動産業者への営業活動を行った。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)          新たな宅地分譲地の検討を行うとともに、移住体験住宅や移住促進住宅の活用を進め、定住住宅の検討を行う。</p> <table border="1" data-bbox="995 1406 1445 1532"> <tr> <td>目標指標</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>宅地分譲販売区画数</td> <td>区画</td> </tr> </table> <p>(達成状況・課題)          5件中2件の町営住宅の耐震改修を実施し、安全な住環境を提供している。また耐震改修が未実施の町営住宅の利用者へ、内容の説明を行い既に改修が終わっている町営住宅への移転を</p> <p>(今後の取り組み・改善策)          まだ耐震改修を行っていない町営住宅について、改修を実施するか取壊しを実施するか検討が必要である。          町営住宅の利用者について、所得が増えてきたことにより退去指示を行なう場合、諸問題が発生する恐れがある。</p>	目標指標	単位	宅地分譲販売区画数	区画
目標指標	単位						
宅地分譲販売区画数	区画						

第4章 人と人が顔を合わせ 広くつながる

(達成状況・課題) 平成29年度総利用者42,623名、604名の増と、利用促進を図ることができた。					進捗状況 ○	(達成状況・課題) H30年度は総利用者43,459名と、597名の増と、大幅な利用促進を図ることができている。		
(今後の取り組み・改善策) ・冬期間の利用促進について継続して取り組む。 ・利用者数は毎年伸びているため、今後は、オフシーズンについて、さらなる利用促進を図る。 ・平成30年度については、プールサイドに健康器具の設置を検討しており、さらなる利用促進となるように努める。					(今後の取り組み・改善策)			
(達成状況・課題) ・簡易宿泊補助について、新規加入者2軒の実績があった。 ・中国からのホームステイについて、数軒の実績があった。 ・南信州観光公社との連携によるホームステイは、特定の学校で継続されているが、受入農家の高齢化や家族構成の変化などにより農家数が減少しており、農家の状況把握が課題である。 ・(一社)南信州まつかわ観光まちづくりセンターが発足したことにより、今後は一般のお客様のホームステイの受入も可能となり、多くの観光客を受け入れようとした場合に簡易宿泊施設の許可が必要となる。					進捗状況 ○	(達成状況・課題) ・簡易宿泊補助について、新規加入者1軒の実績があった。 ・南信州観光公社との連携によるホームステイは、継続して受入が可能な農家はいるが、家族の介護や高齢化など家族構成の変化等により農家数が減少している。 ・中国からの教育旅行の受け入れを数件行った。	基本事業の成果指標 C ・農業体験旅行として南信州観光公社と連携しながら学生の受け入れを実施した。 ・中国の教育旅行については、教育委員会と連携して行った。	
(今後の取り組み・改善策) ・ホームステイ受け入れ可能な農家の状況を把握し、確実な受け入れを支援する。 ・一般観光客のホームステイの受け入れを見据え、簡易宿泊施設の必要性について検討する。					(今後の取り組み・改善策)			次期計画の方向性 維持継続 農泊関係については、観光公社が主導の地域連携DMOの取り組みや観光まちづくりセンターとの連携も必要となってくる。
H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
4	9	0	0		50	施策による増を見込みます。		

平成29年度評価	平成30年度評価	総括評価
----------	----------	------

(達成状況・課題) 南森林分譲地の完売に向け、販売価格を値下げを行い、地域情報紙への広告掲載や、上下伊那の不動産業者などへ営業活動も行ったが、販売はできなかつた。					進捗状況 ○	(達成状況・課題) 土地開発公社の所有する南森林団地の分譲地の契約を締結し、定住の促進をした。	基本事業の成果指標 以下のとおり 【まちづくり政策課:C】 平成30年度の契約締結により、土地開発公社所有の分譲地はすべて完売見込みとなった。南森林団地の販売に多くの時間を要したため、定住支援策の見直しが必要と考える。	
(今後の取り組み・改善策) 名子原県住跡地について、周辺関係者の意見聴取を行い、活用の検討に着手する。					(今後の取り組み・改善策)			【建設課:C】 住宅管理・運営を行ったが、耐震改修が必要な住宅もあり、安全性に問題がある。その中で町営住宅のあり方について結論に至っていない。
H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
0	0	0	1		6	南森林団地1区画と施策による増加分を見込みます。		
(達成状況・課題) 引き続き5件の住宅管理・運営を行った。うち3件は耐震改修未実施であるが、今のところ改修計画はない。					進捗状況 △	(達成状況・課題) 引き続き5件の住宅管理・運営を行った。うち3件は耐震改修未実施である。	次期計画の方向性 以下のとおり 【まちづくり政策課:拡大・改善】 土地開発公社の在り方については、解散も含めて検討を行う。 それに代わる定住支援策として、宅建取協会等、民間と連携した取り組みを検討していく必要がある。	
(今後の取り組み・改善策) 利用者の契約更新に当たり、安全面から退去を勧めていく。 町営住宅と老朽化する教員住宅の今後の利用を関係各課で協議し、将来構想を検討する。					(今後の取り組み・改善策)			【建設課:縮小・廃止】 ・公共施設等管理計画等と整合を図りながら、町としての町営住宅の有無、所管について検討する。

## 第4章 人と人が顔を合わせ 広くつながる

(2)IJUターンの支援			
①IJUターンへの支援	<b>【01】移住・定住支援</b> ●地域外から松川町や南信州地域への移住・定住を推進するため、IJUターンを支援します。 ・活用可能な空き家等を空き家情報バンクとして整備し、移住希望者へ情報提供します。 ・空き家として活用可能な住宅等を調査し、活用へつなげます。 ・町ホームページ等のインターネットを活用したIJUターンの情報を発信します。 ・Iターン者が地域になじめるよう、相談受付、地域との懸け橋になるなど地域とサポート体制を整えます。	まちづくり政策課 まちづくり推進係	(達成状況・課題) 活用希望のあった空き家について、空き家情報バンクで情報提供を行った。 IJUターンの情報発信のひとつとして、移住パンフレットを新たに作成。
			(今後の取り組み・改善策) 活用可能な住宅等について、建設課で実施した空き家実態調査の結果を基に調査を行う。 空き家の活用について、民間不動産業者との連携の検討を行う。
			目標指標
		空き家バンク登録数	件
②空き家対策の推進	<b>【01】空き家対策方針の作成【新規】</b> ●老朽化した危険な空き家等の適正管理について、助言・指導を行う体制を構築します。 ・町内の空き家の実態を把握するため、空き家調査を行い、データベース化します。 ・空き家発生の要因等を洗い出し、町の空き家対策計画および空き家対策条例の策定をします。	建設課 建設管理係	(達成状況・課題) 空き家調査業務を業者へ委託し、空き家実態調査を行った。また自治会へも空き家調査の協力を願った。また空き家と判断できた建物の所有者へ今後の空き家利用の調査を実施した。
			(今後の取り組み・改善策) 国より指導されている空き家対策計画の作成と、町の空き家対策条例の策定を実施する。

					進捗状況	(達成状況・課題)	基本事業の成果指標	C
(達成状況・課題) 活用希望のあった空き家について、空き家情報バンクで情報を提供した。 移住体験住宅を新たに整備し、移住・定住を促進した。					△	移住促進住宅を整備し、移住促進をした。 空き家バンク情報により、1件契約が成立した。 ホームページで新たに移住・定住特設ページを開設し、情報発信をした。	移住体験住宅・促進住宅の整備など、1ターンの受入体制の整備を進めた。また、中・高校生の地域学習を学校と連携して行い、Uターン施策にも着手をした。 空き家バンクの活用促進は進まず、見直しが必要である。	
(今後の取り組み・改善策) 建設課で実施した空き家等の実態調査結果をもとに、活用可能な住宅等について調査を行う。 空き家の活用について、民間不動産業者との連携を検討する。							次期計画の方向性	拡大・改善
							空家対策計画を策定した建設課、新規就農の促進をする産業観光課とともに、横断的な空き家対策の推進を図る。	
H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
201	235	240	247		280	施策による毎年20人の登録を見込みます。		
(達成状況・課題) 松川町空家等対策計画策定に向け、松川町空家等対策庁内調整会議を開催し、計画の検討を行った。松川町空家等対策の推進に関する条例を制定した。					○	空家等対策協議会を開催し、松川町空家等対策基本計画を策定した。	基本事業の成果指標	B
(今後の取り組み・改善策) 計画を決定するため、関係者による空家等対策協議会を開催し、計画素案について協議を行う。							次期計画の方向性	維持継続
							計画に基づき、特定空家(危険な空家等)の認定基準の整備や空家防止のための現状把握と情報発信を行っていく。	